

第五十一景

扇町公園

51

51

あれこれ「巨大」な繁華街のオアシス

1923(大正12)年に開園した扇町公園。梅田と天満の、繁華街の間とは思えない広々とした敷地には巨大な滑り台があり、子どもたちに大人気。しかし、「巨大」なのはこれだけではありません。人々の記憶に残る巨大なものが昔にもあつたのです。



右奥の建物の中に子どものための博物館「キッズプラザ大阪」がある

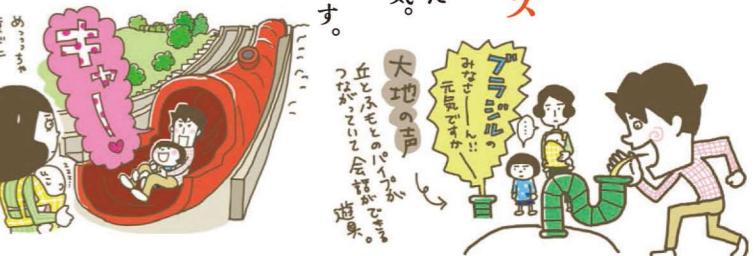
約100年の歴史を持つ都市公園

扇町公園ができたのは、大阪が東京を抜いて日本一の都市へと発展する時期。界隈が市街地化する中で、都会にふさわしい景観を作ろうと市民憩いの場となる都市公園ができました。

約7ヘクタールの開放的な空間には大型遊具、大きな広場、市民プールなどがあります。遊具に夢中の子どもたち、散歩を楽しむ家族連れや年配の夫婦、お弁当をベンチで広げる会社員、ひと息入れるランナーたち。幅広い世代が思い思いに過ごせる場所です。

子どもの人気ナンバーワン! スリル満点すぎる巨大滑り台 [MAP 51-a]

子どもたちに絶大な人気を誇るマウンテンスライダー。小高い丘から何本ものスライダーが出ていて、長いものは全長10メートル、その迫力に子どもたちは大興奮!でも降り口はすべて砂場になっているので安心。はしゃぐ子どもの姿について一緒に来た親たちまで滑りたくなるとか。



「フジヤマノトビウオ」も活躍 日本中を熱狂させた巨大プール

かつてここに東洋一の規模を誇った「大阪プール」がありました。戦後間もない1950(昭和25)年8月、日米国際水泳選手権の開催に向けて、約2万5千人収容のスタンドを持つ50メートルプールができました。この大会で、「フジヤマノトビウオ」と呼ばれた古橋広之選手らが活躍し、日本中を熱狂させました。

老朽化のため1997年に港区の八幡屋公園に移転するまで、集会や演劇の舞台になりました。公園にある不思議なオブジェはその名残。実際に使われていた飛び込み台(競泳スタート台)が南西入口に残っています。



1950(昭和25)年の写真。馬蹄形スタンドが観客で満員になっている



意外と見過されがちな、かつての飛び込み台 [MAP 51-b]

MINI COLUMN かつては監獄だった! 驚きの歴史

扇町公園は、実は巨大な監獄だったと驚く歴史も。陸軍の訓練所があった場所に、1882(明治15)年に高さ10メートルの堀で囲まれた堀川監獄ができました。当時は電車の中から監獄が見えたとか。界隈の発展とともに1920(大正9)年に堀に移転。その後、跡地に扇町公園ができました。監獄の土地があったからこそ、広々とした繁華街のオアシスができたのです。



地図中央が堀川監獄。現在とほぼ同じ形状
「1918(大正7)年の実地踏測大阪市街全図」

扇町公園

▶ 扇町1-1 入園自由

迷い込むのが楽しい路地裏

AREA MAP



KITATENMA / SEIBI



54 本庄産院跡

大阪市初の産婦人科専門施設として1920(大正9)年に浄方寺北側に開設。食費以外は基本無料という社会福祉政策のひとつだった。境内にも赤ちゃんの産声が響き聞こえたという。1933(昭和8)年、扇町に移転。浄方寺の先代ご住職は、移転後の扇町産院で生まれた。

▶ 中崎2-3-26 浄方寺北側

55 白龍大神

小さな路地の奥にまつられている白蛇の神様。干支の呼び方をもじって「みーさん」と呼ばれ、商売、技芸、健康、子宝、縁結びなどのパワーを授かるスポットとして、地域の人々に大切に守られている。

▶ 中崎西1-9 参拝自由

56 中崎町の町屋改造店舗

長屋や古民家をリノベーションしたお店が並び、昭和レトロ好きなら歩くだけでもワクワクするエリア。2001年頃からカフェや雑貨店、古着屋、ギャラリーが増え、個性的なアートやファッショングループのイベントも開催されている。

▶ 中崎西3-4



ハンドメイドの雑貨やアクセサリーを扱う古民家カフェも

52 キッズプラザ大阪

日本初の子どものための本格的な博物館として1997年に開業。科学の不思議、世界の文化や遊び、ワークショップなど、子どもたちがワクワクする体験がいっぱい、授乳室やプレイルーム完備と赤ちゃん連れのママも安心。施設の中心となる「こどもの街」は、世界的に有名なウィーン生まれの芸術家F・ファンデルトヴァッサーのデザイン。まるで絵本の中から飛び出たようなカラフルな街は、子どもたちの巨大な遊び場となっている。



子どもが主役になって
思いっきり体を動かせる

▶ 扇町2-1-7 ☎ 06-6311-6601
9:00~17:00(最終入場 16:15)

第2・3月曜休(祝日の場合は翌日)ほか臨時休館あり
入館料: 大人(高校生以上)1,400円、
小中学生800円、3歳以上500円

53 天五中崎通り

「おいでやす通り」と呼ばれる天満から中崎町まで続く通り。4つの商店会(浪花町商店街振興組合、黒崎東商店会、黒崎西商店会、中崎商店会)が連なるアーケード商店街で、一部のエリアは戦前から残る。約110の小さなお店が集まり、ランチや飲み歩きにもおすすめ。

▶ 浪花町~黒崎町~中崎町